



全国体力テスト

# 中2男子 2年連続1位

## 小5男女2位 ■ 中2女子10位

小学5年と中学2年を対象にした本年度全国体力テストの結果が20日、公表された。合計点を県教委が算出した順位で、大分県は中2男子が2年連続の全国1位、小5の男子が2位、中2女子が10位だった。子どもたちが体を動かす時間は減少傾向にあるものの、学校で受ける体育の授業は満足度が向上した。県教委は「各学校で運動に親しんでもらえるよう取り組んでいる成果」と分析した。

### 体育の授業、満足度向上

テストは4〜7月、全国の小中学校と義務教育学校、特別支援学校の児童生徒を対象に実施。県内は371校の1万7382人が受けた。握力、上体起こし、50メートル走など8項目の実技と、運動習慣や生活習慣を尋ねる調査をした。

実技は中2女子の上体起こしを除く全項目で全国平均を上回った。中2男子の50メートル走は県平均7秒86で過去最高値を記録した。前年との比較では、中2女子と小5の男女で成績が下がった項目が多かった。8項目を得点化した合計点の平均で前年を上回ったのは中2男子のみだった。

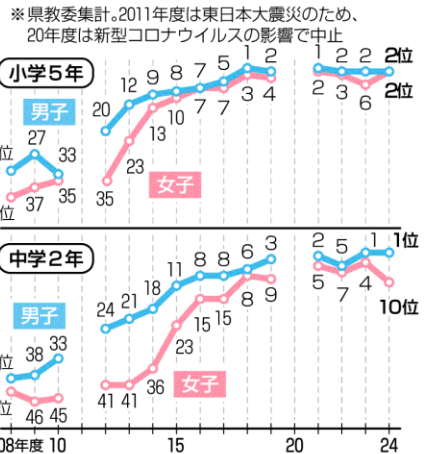
運動・生活習慣の調査では、1週間当たりの平均運動時間（体を動かす遊びを含む）は最も長かった2017年度と比べて大幅に減少。中2男子は17年から2時間58分減の13時間49分、同女子は2時間25分減って9時間13分だった。県教委は運動時間の減少について、子どもがスマートフォンやゲーム機を使う時間の増加を原因に挙げている。スマホなどの画面を「平日は2時間以上見ている」と答えた児童生徒は、小5が約6割、中2は7割以上に達した。

の授業の満足度は中2男子が最も高く、95・6%が「楽しい」「やや楽しい」と回答。小5女子を除き、いずれも過去最高を更新した。県教委は、各市町の小中学校に体育に特化した教員を配置し、運動に苦手意識のある子どもが楽しめる授業を展開していることが要因としている。

県教委体育保健課の佐保宏一課長は「授業の中でいかに運動好きになってもらうかが大切。自分から運動をしたと思う児童生徒を育て、卒業後も運動を続ける素地を養いたい」と述べた。

（佐藤光里）

### 全国体力テスト 大分県の順位





〔問①〕 2024年度の全国体力テストで中学2年男子は全国1位でした。昨年度は何位？

〔問②〕 2024年度の中学2年女子は何位でしたか？

〔問③〕 1週間当たりの平均運動時間は、中学2年の男子と女子はそれぞれ何時間何分？

〔問④〕 体力をつけ、維持するためにはどうしたらいいと思いますか？